

第145号

まちのくすりやさん

今回のおはなし

「便秘の薬」

「ザ・タバコ」



便秘の薬 脱「江戸時代」

日本人の6人に1人ほどが悩むともいわれる便秘。治療薬は、江戸時代からあまり変化がなく、患者の満足度は決して高くはありませんでしたが、ここ数年、新しい薬が登場し、選択肢が広がっています。腎機能の落ちがちな高齢者や、子どもなど、一人ひとりの事情に合わせた使い分けが可能になりつつあります。慢性便秘症は、排便が週に3回未満か、4回に1回を越す頻度で排便が困難な症状があり、それが何カ月も続いた状態です。食事や睡眠といった生活習慣の変化が影響しやすく、加齢とともに増える傾向があります。

便秘の治療には、古くからセンナなどの大腸刺激性下剤や、酸化マグネシウムに代表される浸透圧性下剤が使われてきました。ですが、酸化マグネシウムは、腎機能の悪い人が使うと、意識低下などを起こす恐れがあります。一方、エロビキシバットは、小腸の粘膜にあるたんぱく質に働きかける「上皮機能変容薬」です。大腸の水分を増やして便を柔らかくするほか、大腸の働き自体を促す効果もあります。

便秘治療は長く、患者や医療者から軽く見られがちでした。「快便」にならずに受診をやめたり、市販薬を漠然と使い続けたりする例も後を絶ちませんでした。ですが近年、便秘を放置すると命に関わるリスクを高めることもわかってきました。東北大学のチームは、約13年間の循環器系の病気で亡くなった約2千人を調べると、便秘の人が便秘でない人に比べて、リスクが高いことがわかりました。脳梗塞のリスクは2倍近くありました。

新薬も2012年以降続々と登場しましたが、吐き気が出やすい、効き過ぎると下痢になるなど、課題はあります。便秘の予防には、生活習慣の見直しも大切です。1日3回バランスのよい食事をとること、ご飯やパンなどの主食も欠かさずにとることも大切です。3~4日でなければ薬の使用を考え、1週間でなかったら医療機関に受診するようにして下さい。

江戸時代、シーボルトのころからあった

広がる便秘薬の選択肢 ()は商品名

A 大腸刺激性下剤
大腸を刺激して、蠕動運動を促す
(例)センナ、ダイオウ

腸の内部
薬の成分

B 浸透圧性下剤
腸内に水分を引き込んで、便を軟らかくする
(例)酸化マグネシウム

水分

C 上皮機能変容薬
腸の粘膜(上皮)にある特定のたんぱく質に働きかける
水分の分泌を促すなど、薬によって作用が異なる
(例)ルビプロストン リナクロチド エロビキシバット (アミティーザ) (リンセス) (グーフイス)

エロビキシバットの例
胆汁酸
たんぱく質

2012年以降に登場

Bの新薬も登場へ(年内にも発売予定)
(例)ポリエチレングリコール(モビコール)

高齢者、子どもなど個人の事情に合わせた使い分けが可能に

タバコのリスク 発がん物質

たばこからは3,044の、たばこの煙からは3,996の、化学物質を分離できたとする報告があります。これら約4,000の分離された化学物質は、主流煙の重量の95%以上を占めており、このうち1,172はたばこ及びたばこの煙の両方に存在していたと報告されています。また、たばこの煙には10万以上の化学物質が含まれるはずと推計した報告もあります。吸い込むことによる燃焼やその間の燃焼など、複雑な反応により多様な物質が生成され、周辺へも放出されるというわけです。

たばこの主流煙、副流煙に含まれる化学物質のうち、人体に有害なものは250を超え、発癌性の疑われるものは50を越えるといわれています。たばこの煙、および受動喫煙、あるいは無煙たばこなど、いずれもそれ自体で「ヒトへの発癌性あり」と判断されていますが、特に個別の成分について、ヒトへの発癌性が評価され明確に判断のなされている化学物質を列挙します。

＜グループ1: Carcinogenic to humans 「ヒトに対して発癌性がある」＞
ベンゼン、カドミウム、2-アミノナフタレン、ニッケル（副流煙からは検出できず）、クロム（副流煙からは検出できず）、砒素、4-アミノビフェニル等

＜グループ2A: Probably carcinogenic to humans 「ヒトに対しておそらく発癌性がある」＞ ホルムアルデヒド、1,3-ブタジエン

＜グループ2B: Possibly carcinogenic to humans 「ヒトに対して発癌性がある可能性がある」＞
アセトアルデヒド、イソプレン、カテコール、アクリロニトリル、スチレン、鉛

出典：厚生労働省 最新たばこ情報

手足口病が流行っています。

接触感染（糞口感染）が主な感染経路なので、手洗いが重要になります。特にトイレの後の手洗いは、普段からきちんとするようにしつけること、オムツなどの後始末後は丁寧に手を洗うことなどを伝えることが重要です。



（一社）浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812（月～金：10～15時）

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp

ホームページ <http://www.urayaku.jp/>